

**藤原弘介監督(法学部23期生)率いる  
佐久長聖高校が、2年ぶり6度目の甲子園出場!**

7月27日(日)、第96回全国高校野球選手権大会長野県予選決勝が、長野オリンピックスタジアムで行われ、本学卒業生の藤原弘介氏(法学部23期生)が監督を務める佐久長聖高校野球部が、2012年以来2年ぶり6度目の優勝を果たし、夏の甲子園大会への出場権を獲得しました。

県予選決勝戦は、長野商業高校と対戦し、最終回まで手に汗握る試合展開が繰り広げられ、1点差(10対9)を守りきり、見事勝利をつかみ取りました。

藤原監督は、2012年度から同校の監督

を務めており、今回は就任後2度目の甲子園出場となります。

8月14日(木)に行われた1回戦(対:東海大甲府高校)は、終始佐久長聖高校野球部のペースで試合が進められ、3対1で見事初戦を突破しました。

藤原監督と同校野球部の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

1回戦(8月14日)結果

Team	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
東海大甲府(山梨)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
佐久長聖(長野)	0	0	0	1	0	1	0	1	X	3

**難関国家資格に本学卒業生が合格  
平成25年司法試験に卒業生2名が合格!**

本学卒業生の山口秀哉さん(法学部37期生)・林厚雄さん(法学部35期生)の二人が「平成25年司法試験」に、山本誠さん(経済学部39期生)が「平成25年公認会計士試験」に合格されました。

山口さん、林さんは、本学法学部卒業後、それぞれ同志社大学法科大学院、甲南大学法科大学院に進学され、今日まで勉学に

励んでこられました。山本さんは、本学在学中、Sコース「会計職講座」に所属し、1年次に日商簿記検定3級・2級を取得、4年次に受験した「短答式試験」に合格し、卒業後に受験した「論文式試験」でも見事合格を果たし、晴れて公認会計士試験の合格者となりました。

今回合格された皆さまを心からお祝い申

し上げるとともに、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。

なお、「平成26年司法試験」の合格発表は9月9日(火)、「平成26年公認会計士試験(論文式)」の合格発表は11月14日(金)に予定されており、一人でも多くの本学卒業生が合格されることをお祈りしています。

校友会 & Q&A

**Q1:** 校友会費20,000円を納めたかどうか知りたいのですが?  
**A1:** 下記校友会事務局まで、電話又はFAX、e-mailでお問い合わせください。また、校友会費20,000円は、年会費ではなく終身会費となっています。一度会費を納めていただいている場合は、会費納入の必要はありません。  
※注意 2001年以降に入学された方(編入生を除く)については、在学中に校友会費を委託徴収しておりますので、会費納入の必要はありません。また、2003年度以降に入学された編入生については、卒業後に、委託徴収金の残額1万円を納入する必要があります。

**Q2:** 卒業証明書・成績証明書を発行してほしいのですが?  
**A2:** 卒業証明書・成績証明書の発行を希望される場合は、郵送(教務課宛)又は教務課窓口にてお申し込みいただくことができます(電話やFAX、メールでの申し込みはできません)。詳しくは、大学ホームページ「各種申請書・願・届」をご参照ください。  
URL <http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/sheet/certificate.html>  
※個人情報保護の観点から、証明書の発行には、本人確認をさせていただきます。

**Q3:** 「東京麻布台セミナーハウス」「琵琶湖セミナーハウス」「阪南キャンパス」など、大学の所有する施設を利用できますか?  
**A3:** 校友会費を納めていただいている会員については、大学の行事、学生の課外活動等を優先の上で、日程が空いていれば利用することができます(有料)。

事務局だより

**●不審な問合せにご注意ください!**  
最近、他大学の同窓会組織で、大学名や校友会(同窓会)などの名を騙り、電話やハガキで卒業生名簿作成と偽り、個人情報を求めてくるケースが頻繁に発生しております。また、何らかの方法で同窓会名簿を入手し、営業などに利用しているという事例も報告されています。このような問合せには、発信元の住所や連絡先を確認した上で、慎重に対応してください。  
大阪経済法科大学校友会は、現在、名簿を出版する事実(予定)もなく、特定の業者を推薦、斡旋することはありませんので、ご注意ください。

**●卒業生の情報をご提供ください!**  
大阪経済法科大学は、一昨年創立40周年を迎え、これまで約4万人もの卒業生を社会に送り出してきました。本学を卒業された校友の皆様は、地方自治体の首長をはじめ法曹界、産業界、経営者、アーティストなど、あらゆる方面で活躍されております。  
校友会のホームページでは、このように社会で活躍する卒業生の情報を積極的に発信していきたいと考えています。先輩や後輩、テレビや新聞などで本学卒業生の活躍をご存じの方は、是非情報をご提供ください。皆さんで、活躍する卒業生と一緒に応援しましょう!

# 校友会報



02 KEIHO Information  
03 2014年度第16回大阪経済法科大学校友会総会・懇親会  
04 活躍する卒業生  
    溝口 幸男(法学部4期生) / 西口 善規(法学部1期生)

08 母校の近況報告  
12 支部活動報告(支部長メッセージ)  
14 2014年度事業計画・2013年度事業報告  
16 卒業生NEWS&TOPICS・事務局からのお知らせ

# 未来につながる 新たな学習空間 誕生!

## 大学院経済学研究科経済学専攻(修士課程)の開設について(設置認可申請中)

大阪経済法科大学は、2015年4月の大学院経済学研究科経済学専攻(修士課程)の開設に向けて、文部科学省に設置認可申請書を提出しました。

今後、大学設置・学校法人審議会「大学設置分科会」による審査を経て、10月(予定)の認可、来年4月の設置をめざします。

開設予定の経済学研究科経済学専攻の概要は、下記のとおりです。

### 経済学研究科経済学専攻(修士課程)の設置計画の概要

- 名称**  
経済学研究科経済学専攻(修士課程)
- 開設予定時期**  
2015(平成27)年4月
- 設置の目的、養成する人材像**  
経済学研究科経済学専攻は、グローバル化・複雑化する経済現象の分析方法としての理論的、実証的及び歴史的アプローチを修得し、経済学に関する高度の専門知識を備え、現代社会が直面する経済的諸問題に対して解決の方策を提案できる高度の専門的職業人を養成することを目的とする。
- 修了後に想定される主な進路**
  - (1)国内外の市場動向を分析し市場開拓・商品開発などを担う、民間企業の戦略的業務担当者
  - (2)民間シンクタンク、公共機関、NPO法人等の政策プランナー
  - (3)企業の経営者 など
- 学位の名称**  
修士(経済学)
- 設置場所**  
大阪経済法科大学 八尾駅前キャンパス
- 入学定員**  
20人(収容定員40人)



## 2014年4月「経済学部経営学科」新設

新たに新設した経営学科では、学生の人生の目標に合わせて4つのコースを設置し、経営学を幅広く学ぶことができるカリキュラムを導入いたします。

また、少人数教育と実践型・体験型の教育を従事し、八尾市との包括連携協定の締結など、企業や地域社会との連携、そして北京大学、ロンドン大学など、世界19カ国地域・51大学との国際ネットワークを活かし、語学力と国際感覚に優れた人材を養成していきます。

本学では、今回の経営学科開設を契機に、建学の理念に基づく実学教育を更に推し進め、産業界の要請に応えるとともに、学識と行動力に溢れる人材の育成に全力で取り組んでいきます。

- 学位：学士(経営学)
- 入学定員：160名(収容定員640名)
- コース：ビジネスマネジメントコース・マーケティングコース  
会計ファイナンスコース・グローバルビジネスコース



三戸 泰樹  
(校友会副会長・経済学部20期生)  
実行委員長

全国の校友の皆さんこんにちは。平素は校友会事業に関しまして、多大なご理解ご支援をいただき誠に有難うございます。

今年も本学卒業生が一同に集まる校友会総会・懇親会の季節がやってまいりました。開校から41年が経ち、多くの卒業生を輩出してきた母校ですが、ここ最近めまぐるしく変革し続けています。校友会総会・懇親会におきましても一昨年実施しました花岡キャンパス学生ホール棟「クロノス」に続き、昨年は八尾駅前キャンパス「オーバル」と新たな歩みを踏み出した母校の象徴的な施設で開催してきました。

さて、今回の総会・懇親会は、シェラトン都ホテル大阪にて開催いたします。

私自身、校友会活動を通じ多くの方と接し、多くの事を学んだり、利害関係のない良きお付き合いの出来る方々と知り合うことが出来ました。これらは私にとって大きな財産だと思っています。「行動しないでじっとしているのも一日、参加して何かを感じたり新しい出会いがあるのも同じ一日」です。

是非多くの方に総会・懇親会にご参加いただき、学生時代に戻り楽しい時間を共有できれば幸いです。また、毎年家族の方の参加も増えていきますので、気軽にご参加いただければと存じます。

一人でも多くの校友の皆様方とお目にかかれまことを心よりお祈りいたしております。

### 第16回校友会総会・懇親会概要

**日時**：2014年10月18日(土)  
(総会)16時～(受付15時30分～)  
(懇親会)17時30分～

**会場**：シェラトン都ホテル大阪「浪速の間」

**会費**：5,000円(懇親会費)  
※2013年度卒業生は無料

#### 内容

(総会) 伴井敬司会長より、本会事業の現状と今後の方向性等について、ご報告いたします。また、藤本和貴夫学長から、母校の近況と大学の将来計画についてご報告いただきます。その他、校友会の歩み、今後の校友会事業、校友会活動の基盤組織である各地域支部の活動状況等についてご報告します。

(懇親会) 豪華な食事に舌鼓を打ちながら、校友・在学生・教職員との交流をお楽しみください。在学生によるパフォーマンスや卒業生と在学生のコラボ企画、素敵な景品が当たるピング大会など、ご参加いただいた皆様楽しんでいただけるような企画を多数用意しております。

#### ACCESS

**シェラトン都ホテル大阪(近鉄電車 大阪上本町駅 直結)**  
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-1-55 TEL.06-6773-1111(代表)

##### 電車でお越しの方

- JR新大阪駅より**
- 地下鉄「御堂筋線」なんば駅で近鉄線に乗り換え。大阪上本町駅下車(約30分)
  - 地下鉄「御堂筋線」なんば駅で地下鉄「千日前線」に乗り換え。谷町九丁目駅下車
- JR大阪駅・地下鉄梅田駅・東梅田駅より**
- JR「大阪環状線」鶴橋駅で近鉄線に乗り換え。大阪上本町駅下車(約20分)
  - 地下鉄「谷町線」東梅田駅にご乗車の上、谷町九丁目駅下車(約15分)
- 阪神三宮駅より**
- 「阪神なんば線」から近鉄線直通、大阪上本町駅下車(約50分)

##### お車でお越しの方

阪神高速1号環状線道頓堀出口より約5分



鶏口となるも  
牛後となるなかれ

溝口 幸男さん(法学部4期生)  
総務省滋賀行政評価事務所長



溝口幸男さんは刻苦勉励の人である。1974年大阪経済法科大学法学部に入学。毎日2時間以上かけて通学し、卒業時には成績優秀により法学部総代に選ばれた。

入学前年の1973年、オイルショックと呼ばれる世界的な経済混乱が起こり、物価が暴騰した。日本経済は深刻な打撃を受け、民間企業への就職は非常に厳しい時代だった。溝口さんが公務員を目指す契機となった。



出身は兵庫県の須磨です。通学には2時間以上はかかりました。スクールバスがなくて服部川駅から歩いて通っていました。高校は工業高校でした。筑波大学に推薦入学できることになっていたのですが、開学が1年延期になったために受け入れてもらえなくなったのです。仕方がないので、方向転換して公務員になろうと思って経法大に入学しました。

大学時代の思い出は、よく勉強したなということですね。当時卒業所要単位数は144単位でしたが、教職科目も履修していたので、170単位以上は履修しました。教職科目にいくつか「良」がありましたが、その他はすべて「優」だったと思います。

当時は公務員試験の情報はほとんどありませんでした。傾向と対策が全く分からなかったので、専門科目は大学の

授業を真面目に受けて、司法試験の短答式問題をひたすら解きました。一般教養は民間企業向けのテキストや大学受験の参考書を使って勉強しました。3年生の時には、市役所であれ、国家公務員であれ、受けられる試験はすべて受けました。

他大学であれば、教員や先輩を通じていろんな情報を得ることができたはずですが、開学4年目だったので、周りには公務員試験を受験する学生がいませんでしたし、大学もノウハウを持っていない状況でしたね。

1978年行政管理庁(現総務省)近畿管区行政監察局に入庁した。1985年本省に人事異動になり、その後、会計検査院、関西空港株式会社監査室、厚生労働省社会援護局、内閣府などへの出向を経験した。

私の所属している総務省行政評価

局には3つの機能があります。一つ目が、各府省の政策の実施状況、全国的な調査を実施し、課題や問題点を把握し、改善策を提示すること。ふたつ目は、各府省が行う政策評価の円滑かつ着実な実施を推進すること。そして、三つ目が国の行政に関する苦情や意見・要望を受け付け、その解決を促進することです。

私が今まで担当してきたのは主に統計基準の部分で、実際に統計調査をする際の基準を作ったり、各種の調査ごとに任命する統計調査員を確保するための事業、そのための予算の確保、必要な研修の実施など、多様な業務に携わってきました。

——仕事でやりがいを感じるのはどんなところですか。

公務員として働いていて、仕事にやりがいを感じるのは、自分の企画立案が実施されることですね。近畿管区にいて本省から与えられた仕事をするだけですが、本省では自分の企画立案した仕事が全国で実施されます。企画立案する仕事は東京でしかできません。例えば、下水道調査、用地補償の仕事など、地方公共団体や出先機関に指示をして取りまとめさせて、建設省、農林水産省、運輸省などに業務を改善するよう勧告しました。すべてが受け入れられるわけではありませんが、総務大臣名で各省の大臣あてに勧告が送られるわけですから、重みがあります。

会計検査院に出向していた時には、国が東京の地下鉄建設のために支出した補助金に無駄があったので指摘したら改善されました。

——仕事上で大変だったのはどんなことですか。

大変だったのは夜が遅いことです。自分で仕事のコントロールができないのです。国会開会期間中や予算編成の時期には家に帰れないことも多かったですね。特に予算編成は、春に始めて、ほぼ一年がかりです。総務省内部で来年度こんな仕事をやりたい、予算はい



くらと概算要求をまとめます。総務省内部で徹底的に検討して財務省に予算要求します。それから財務省の主計局に何度も行って説明しなければなりません。最終的には12月末に決定されます。この時期にはほとんど家に帰れないですね。

仕事を辞めたいと思ったことはありません。上司や国会議員からは本当に理不尽に怒られました。今だったら考えられないようなパワハラ・セクハラがありましたね。

——現在ではどんなお仕事をされていますか。

総務省滋賀行政評価事務所長になったのは1年前です。行政評価事務所の主な業務は、滋賀県における各府省の政策についての統一性又は総合性を確保するための評価や各府省の評価の客観的かつ厳格な実施を担保するための評価を行うことです。以前は仕事やりっぱなしで終わっていたのですが、今はPDCAサイクル、つまりPlan(計画)・Do(実行)・Check(点検・評価)・Act(改善・処置)によって、結果を評価後改善して次のステップへと繋げていかなければなりません。

また、行政相談という仕事もしています。どこに相談していいかわからないような問題、例えば踏切事故が多いので改善してほしいとか、身近な役所の仕事についても国民の意見を集約して改善に結び付けるといったことです。

今年1月母校を訪問し、藤本学長と面談した。6月には法学部専門科目「21世紀日本の議会と行政」で特別講義を行なった。

田中誠一先生との約束を果たしなかったんです。在学中は田中先生には本当にお世話になりました。卒業式の前日に卒業祝いだといって飲み明かし、卒業式にはほとんど寝ずに駆け付けました。

その後、2000年に関西空港株式会社に出向していた時、たまたま空港で田中先生をお見かけして食事をする機会があったんです。その時、学生のために話をしてくれないかという要請を受けたんですが、多忙のため実現しませんでした。そのうちに先生がお亡くなりになったという連絡を受けました。

最近になって少し時間的余裕ができたので、母校を訪問してみようと思い立ちました。その時、藤本学長や岩村副学長から学生に講義してもらえないかという要請があり、ようやく田中先生との約束を果たすことができました。

——座右の銘はありますか？

「鶏口となるも牛後となるなかれ」という言葉があります。「大きな集団や組織の末端にいるより、小さくてもよいかから長となって重んじられるほうがよい」という意味ですが、学生時代、法学部長(後学長)だった吉田力雄先生から聞いたこの言葉がずっと頭に残っていて、私の座右の銘となっています。

# 一生懸命、そして 最後はケセラセラ

西口 善規さん(法学部1期生)  
元奈良県警警視



警察官としての人生を歩むうえで、試験は切っても切り離せない。巡査部長、警部補、警部、警視と昇任試験を4回も経なければ警視にはなれない。法学部1期生の西口善規さんはその階段をひとつずつ上り詰めて警視になり、香芝警察署長、奈良県警刑事部参事官を歴任した。

自慢できませんが、高校時代はまったく勉強しませんでした。しかし、パイロットになりたいという夢を持っていました。そのためには英語が必要だということで、京都外国語大学を受けましたが、不合格だったんです。それでいろいろと調べてみると、八尾飛行場に操縦士養成のための学校があるということが分かりました。すぐに、八尾へ行く、どうせなら近くの大学に通いながら免許を取ろうという甘い考え方をするようになったんです。入学後八尾空港に行ったところ、軽度の色弱だということで、受付で入学を断わられてしまったんです。大学入学早々、夢と目標がなくなってしまって、途方に暮れてしまいましたね。

それでも英語だけは続けようと思っ

てYMCAに通っていたんですが、そのうちそこで体育指導クラスのリーダーをするようになって、トランポリンやスキーを教えたり、キャンプに行ったり、大学そっちのけで熱中してやりました。卒業が近くになって、父に警察官採用試験を受けてみると言われてたんです。知人に警察の副署長をしている人がいるから、一度話を聞いてこいと言われて会いに行ったんですが、その時の出会いが私の人生を変えました。

「警察の仕事は、人に役立つ仕事だし、やりがいもある。努力次第で幹部にもなれるよ」と言われて、親孝行の気持ちもあり、副署長への義理もあったので、「よし、やってみよう」と思ったんですね。それまでほとんど勉強なんかしたことがなかったんですが、その時は本

当に一生懸命勉強しました。結果は合格でした。

在学中は教職課程も履修していて、出身中学に教育実習に行ったんです。その時、今井直重教授が実習校に訪ねてこられて、激励してくれたんです。心細い思いをしていたのですが、とても感激して、やる気ができました。そのせいかどうか分かりませんが、実習期間が終っても、しばらく続けてやるように中学校の担任に依頼されました。

——警察ではどのような仕事を経験されましたか。

警察学校の同期は奈良県全体で46名でした。警察学校のカリキュラムは大きく分けて、一般教養、法学、警察実務、術科教養、その他の5つですが、負けてたまるかという思いで、死に物狂いで勉強しました。卒業の時には3番の成績でした。やればできるということが分かって、それが励みになりました。卒業式で表彰もされました。そのせいもあってか、奈良県で一番大きな奈良警察署に配属になりました。警察学校の時の頑張りが原動力になって、退任まで頑張り続けられたのだと思います。警察官になると、最初は交番勤務に配属されます。私も2年半交番勤務を経験して、半年間の留置管理を経て、奈良署の刑事課に配属されました。配属されてすぐに担当したのが贓品調査です。これは質屋、古物商とかを回って、盗品を見つけるんです。近畿圏一円を回りました。現在では品物を盗むというのは少ないですが、当時は盗品を換金するという事案が多かったですね。在職中は、いろんな事件を担当しました。差しさわりがあるので、詳しい話できませんが、薬物事件、公職選挙法違反などを主に担当してきました。マスコミの注目を浴びた事件の捜査を指揮したこともありまして。一番やりがいを感じたのは香芝署の署長をしていた時ですね。署長官舎が警察署のすぐそばにあるんですが、それこそ毎日さまざまな事件が発生します。それらに対応し

なければならぬので、休みの日でも基本的に管内を離れないようにしていました。

退任前には刑事部参事官として奈良県警刑事部の統括をしていましたが、その時、東日本大震災が起こりました。刑事部として大震災に対して何ができるか、必死で考えました。刑事部は業務として検死をやっている、そのための訓練を受けています。それで、すぐに担当者を被災地に派遣して、身元確認作業を担当させました。

余談ですが、奈良県警察航空隊を統括していた時期がありました。事件が起こるとただちにヘリコプターを現場に派遣します。このヘリコプターに数十回、操縦席ではありませんが乗る機会がありました。結果的に若い頃の夢を一部実現することができました。

——現在は、母校で公務員特別演習アドバイザーをされていますが、どのようなことをされていますか。

実は、私は伴井敬司校友会会長とは高校・大学の同級生です。警察を退職した後、伴井会長にこれまでの経験を活かして後輩を育成するような仕事ができないかと相談しました。会長から大学に打診していただいたところ、受け入れていただいたというのが経緯です。

現在は岩村等教授担当の公務員特別演習でアドバイザーとして、学生に小論文、ディスカッションを教えています。公務員は文章主義ですから、学生

に課題を与えて小論文を書かせて添削をする、それを繰り返してやらなくてはなりません。最初は誤字脱字が多くて、論旨もはっきりしない小論文が多かったのですが、だんだんよくなってきました。同じ課題でグループディスカッションもさせています。人前で自分の意見をしゃべる力をつけさせるためです。文章力を高めるためには、書く努力というより、読む努力が必要です。いろんな文章、とりわけ学生にはまず新聞を読めと指導しています。

よくゼミの学生から相談を受けます。学生は思いもよらない質問をしてきます。最近も「警察官は怖くないですか。僕は怖がりなんです。警察官になれますか」という質問を受けました。「恐怖のない人間はいない。みんな、なんらかの方法で克服している。私も怖いと思うことはあるけど、警察官としての使命感を持てば克服できるよ」というと、「自信が持てました」と言ってくれました。

学生にはいつも、「一生懸命やれ、そして最後は開き直れ」と言っています。一生懸命生きていくことで、人生の素晴らしさが実感できるんです。しかし、一生懸命やったあとはなるようにしかならない。失敗したとしても、なんとかするという開き直りの精神も必要です。最後はケセラセラ。こう考えることで、私はこれまでのつらい時期を乗り越えてこれたんじゃないかと思っています。



教育・研究・地域活動

2013年度「資格・検定試験合格祝賀会」を開催

年度 資格・検定試験合格者祝賀会



3月6日(木)、八尾駅前キャンパス学生プラザで資格・検定試験合格者祝賀会が開催されました。祝賀会には、公務員採用試験や大学院入学試験、難関国家試験である司法試験、公認会計士試験など、各種資格・検定試験に合格した約170名の学生と学長、教職員、資格講座関係者多数が出席しました。

藤本和貴夫学長より「皆さんの目標の実現に向けた努力により、資格・検定試験合格者が、はじめて1,000名を超える画期的な一年となりました。皆さんの努力は、将来、社会に出た時にいるんな形で役に立つことでしょう。私たち教職員は、この一年間に積み重ねて来られた皆さんの努力を忘れることなく、今後もさらに一層支援していきたいと思えます。今後とも頑張ってください。」との挨拶をいただきました。その後、合格者代表3名の方に賞状・記念品の授与が行われました。



製品開発プロジェクトに取り組む  
「BLP」履修生が八尾市長を表敬訪問

6月26日(木)、BLP(ビジネスリーダープログラム)履修生の経済学部・法学部両学部の2年生4名と経済学部3年生の1名の計5名が、大阪の企業と共同開発プロジェクトに取り組んだ「大阪いちじくプリン」の完成を報告するため、田中誠太八尾市長を表敬訪問しました。



田中市長は表敬訪問以前に、すでにプリンを召し上がられており、「とてもおいしかった」との感想を頂きました。

また、このような産学連携の取り組みが発展し、地域活性化につなげられるようにしていきたいと述べられ、学生たちに向けて、市のインキュベーション施設や商店街の空き店舗などを利用してはどうかとアドバイスしてくださいました。

社会で活躍する人材育成を目指すBLP(ビジネスリーダープログラム)では、産学連携など様々なチャンスを活かした高度のPBL(プロジェクトベースラーニング:課題解決型学習)を通じて、ビジネスリーダーに必要とされる素養を身につけるための教育を、今後も展開していきます。



『デートDV』予防に関する出前授業を実施

5月14日(水)、日本ピアサポート学会の大学生部会に所属する本学の学生10名と他大学の学生8名が、府内の中学校にて「デートDV予防」に関する授業を実施しました。

授業では、夫婦間で生じるDV(家庭内暴力)が恋人間で起きている「現状」を認識し、中学生が「デートDV」の加害者・被害者にならないための方法論を学ぶグループワークが行われました。

新人教師役として教壇にたった18名は、カップルの望ましい交際についてシナリオ(脚本)に沿った「ロールプレイ(実演)」を行いました。その後、それを実現するために、どのようなやり取りがなされるべきか中学生にグループで考えてもらい、ファシリテーター(話し合いを促進する進行役)として、グループワークをサポートしました。

授業を受けた生徒達からは、普段接する先生よりも年齢の近い大学生の授業を受けることで、「授業のテーマをより身近に感じながら考えることができた」といった感想が聞けました。

国際交流

海外フィールドスタディのネパール派遣学生  
交流活動や野球親善試合を実施



2月10日(月)~18日(火)、経済学部・法学部の学生12名が「海外フィールドスタディ」の新たな取り組みとして、ネパール連邦民主共和国で現地の学校との交流及びボランティア活動を行いました。

学生たちが取り組んだ活動は、「現地学校での国際協力ボランティア活動」「ネパールの野球ナショナルチーム「チームラリグラス」との野球の試合、普及活動、交流」の二つです。

バルパドラ学校を拠点に、様々なボランティア活動を実施し、日本語授業、日本文化紹介、子供たちと楽しい時間を過ごしました。また、野球普及活動として、ネパールの野球ナショナルチーム「チームラリグラス」と親善試合を行いました。

『真田幸村博』イベントにて  
アンテナショップ出店



5月4日(日)、天王寺公園で開催された「天王寺 真田幸村博」イベントに、経済学部の「経営実践I」の受講生18名が参加し、天王寺地区にある老舗の商品を販売するアンテナショップ「天王寺区うまいもん博」を企画運営しました。

会場ではゲーム・アニメ、地元企業などと様々なコラボイベントが行われており、学生達は、アンテナショップの運営はもちろん、イベントグッズの販売や入場口の交通整理、映像館でのトークショーやライブイベントのプロデュースを補助するなど、イベントのあらゆる場所、時間帯に顔を出していました。

参加した経済学部2年生の女子学生は、「今回の運営を通じて見つけた課題をまとめて、天王寺区長に報告しに行きたいと思えます」と充実した表情で語っていました。

東南アジアの二大学と学術交流協定を締結

2014年2月、マレーシア国立大学とカンボジア国立経営大学の二大学と新たに学術交流協定を締結しました。これにより、本学の海外協定校数は、20カ国・地域の53大学・研究機関、ASEAN(東南アジア諸国連合・加盟国数10カ国)では、5カ国の7大学・研究機関となりました。

このたびの協定締結は、本学の東南アジアにおける新たなプログラムの実施などを可能にするもので、今後は、交換留学、海外フィールドスタディ、ボランティアプログラムなど、多彩なプログラムの実施を計画しています。

JICA海外技術研修員との交流プログラムを実施

7月17日(木)、JICA(独立行政法人国際協力機構)で研修中の海外技術研修員と本学学生の交流プログラムが実施されました。交流プログラムはメインテーマである「地域自治体行政強化(参加型地域開発)」についての研修会と、JICA海外技術研修員の方々とは本学学生の交流会の2部構成で行われました。

第1部は、JICA海外技術研修員の方々とは、本学の教職員ならびに八尾市役所の職員の方々との「地域自治体行政強化(参加型地域開発)」に関する研修会が行われました。本学からは藤本和貴夫学長・岩村等副学長・菅原絵美法学部助教が参加し、本学の国際教育プログラムおよび八尾市・八尾市議会との地域連携に関する取り組み、地域のなかでの大学の役割、連携について議論が交わされました。本学の学生たちもスタッフとして参加し、運営全般に活躍しました。

第2部の交流会は、学生や教職員など総勢100名が参加しました。学生たちが準備してきた折り紙・空手・茶道体験など、日本文化を紹介するための様々な「出し物」が披露され、研修員の方々も熱心に見入っていました。後半では、出身国別に分かれてのグループディスカッションが行われました。会場のあちこちで国境を越えた「友情の輪」ができ、互いに笑顔で写真に納まる姿が印象的でした。



課外活動(在学生の活躍)



「全国学校・園庭ビオトープコンクール」環境大臣賞受賞!

2月9日(日)、「全国学校・園庭ビオトープコンクール2013発表会・表彰式」(主催:公益財団法人日本生態系協会)が開催されました。

「環境大臣賞」を受賞した本学からは、学生環境保全研究グループである「ECO〜る∞KEIHO」のメンバーなどが出席し、これまでの取り組みについて発表を行いました。

審査基準は6つの観点から定められており、これに基づいて審査されます。本学は環境フィールドワークの体験的な授業が行われていることや、高安自然再生協議会を設立し、地域経済の再生と自然再生を官民学が連携して行われていることなど、本学の環境教育の在り方について高く評価されていました。

青色防犯パトロールカーでの八尾市内巡回ボランティアに参加

7月23日(水)・30日(水)の2日間、高安小学校、高安西小学校、中高安小学校、南高安小学校、上之島小・中学校、長池小学校、八尾中学校、高美小・中学校、曙川小学校、曙川南小学校、金光八尾高校、八尾翠翔高校等の八尾市内にある小中学校付近で、青色防犯パトロールカーでの見回りを行うボランティアに参加しました。

この青色防犯パトロールカーでの巡回は、社会的弱者である女性

や子供を狙った犯罪を防ぐとともに地域住民との交流を図ることを目的として、今年の6月から新たにスタートした取り組みです。当日は、本学法学部の学生が巡回に参加し、防犯意識向上のためのアナウンスを流しながら、八尾市内の各小学校付近の通学路を中心に、クラブやボール帰りの小中学生が安全に帰宅できるよう、時に声をかけながら、巡回を行いました。



**● 法学部3年生男子**  
「八尾の犯罪特徴や、各小学校での防犯に関する取り組み内容を知ることが、こういった見回り活動をする意味が分かりました。私は警察官志望ということもあり、とても貴重な経験になったと思いますので、警察官志望の学生や、ボランティアに興味のある学生には参加して欲しいと思いました。」

**● 法学部3年生女子**  
「夏休み中、通学路は閑散としていましたが、子どもが歩くには危険な場所が多く見受けられました。青色防犯パトロールカーでの巡回は、効果がすぐ分かるわけではないですが、数年後の未来に違いがでてくるよう、これからも防犯意識を向上させるために地道に続けていこうと思います。」

**● 法学部3年生女子**  
「印象に残っているのは、小学校の数の多さと、通学路の道幅が狭いことでした。八尾市は29校もの小学校があることから、パトロール活動は地域のボランティア団体と連携して行っていることを知り、防犯のために何が出来るのかを考えるいいきっかけになりました。またぜひ参加し、地域の安全につながる活動をしたいです。」

障がい者就労支援団体によるパン・クッキーの学内販売を学生団体がサポート

5月28日(水)、八尾駅前キャンパス2階学生プラザで、八尾市を拠点に介護事業や障がい者就労支援を行う「社会福祉法人ゆうとおん」によるパンやクッキーの学内販売が実施されました。

学生三団体の役員や学生有志が実施に協力し、昼食を取りに来た学生たちに声をかけ、販売コーナーに誘導したり、商品の案内を行うなど、積極的にサポートしました。また、販売コーナーに訪れた学生たちに「ゆうとおん」の紹介パンフレットを手渡すなどして、同団体の活動PRもあわせて行いました。



**ゆうとおんスタッフ**  
「今年度最初の学内販売でしたが、学生の皆さんに協力していただいたおかげで、多くの学生の方にゆうとおんの活動を知ってもらうことができました。今後も私たちの活動のことを学生の皆さんに少しでも知っていただければと思います。」

**参加者の声**  
**法学部2年生女子**  
「多くの学生にゆうとおんの活動を知ってもらい、パンやお菓子を購入してもらうことができて良かったです。」

本学バドミントン部が大阪府下4校のバドミントン部と合同練習



本学男子バレーボール部が「平成26年度明石市長杯関西大学ビーチバレー男女選手権大会」にてベスト4入賞 全国大会出場を決める!

7月19日(土)・20日(日)の2日間、明石市大蔵海岸で「平成26年度明石市長杯関西大学ビーチバレー男女選手権大会」が開催され、本学体育会バレーボール部が出場しました。

男子バレーボール部の宮川武選手(法学部4年生)と田中将太選手(法学部2年生)のペアが、同校対決や強豪校である神戸学院大学との戦いを制して、見事ベスト4入賞を果たしました。

また、同大会は「ビーチバレージャパンカレッジ2014 第26回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会」の予選も兼ねており、本学からは4位入賞の宮川選手・田中選手ペアと、ベスト8の徐悠太選手(経済学部4年生)と仲伊部浩生選手(経済学部1年生)ペアが見事予選を突破し、全国大会出場を決めました。



**最終順位**  
優勝: 神戸学院大学A  
準優勝: 神戸学院大学B  
第3位: 天理大学  
第4位: 大阪経済法科大学A  
第5位: 神戸学院大学E  
神戸学院大学G  
第7位: 大阪経済法科大学B  
神戸学院大学C  
第9位: 大阪体育大学A  
びわこ成蹊スポーツ大学B

7月16日(水)、本学総合体育館で体育会バドミントン部が、八尾翠翔高校、花園高校、みどり清朋高校、八尾北高校のバドミントン部と合同練習を行いました

この合同練習は、本学と参加高校とのバドミントンを通じた相互交流及び競技力向上を目的としており、当日は、体育館でウォーミングアップを行った後に、競技レベル別に設定されたグループごとに分かれて、基礎練習や試合形式の練習を行いました。

基礎練習では、本学バドミントン部員や副顧問がサポートしながら、スマッシュネットやダブルノック等の練習が行われました。また、本学バドミントン部の西村コーチによる「巡回指導」も行われ、参加者の高校生たちは、同コーチの指導内容に、熱心に耳を傾けていました。

試合形式の練習では、元気な掛け声やシャトルを打つ音が体育館に響く中、各高校のバドミントン部員が練習で培った力を発揮し、真剣勝負が繰り広げられていました。

2014年度春学期課外活動戦績

2014年度も各クラブの公式戦(春季リーグ戦等)が各会場で開催され、熱い戦いが繰り広げられました。春学期の各クラブの主な戦績は、以下のとおりです。

9月以降も各クラブの公式戦(秋季リーグ戦等)が随時開催されますので、クラブ生への応援をよろしくお願いします。

●各クラブの主な戦績

クラブ名	大会名	結果
卓球部	関西学生卓球リーグ戦	男子1部6位(1勝6敗)
		女子2部5位(1勝4敗)
硬式野球部	阪神大学野球リーグ戦	2部東6位(1勝9敗)
バレーボール部	関西学生バレーボールリーグ戦	4部2位(5勝2敗)
バスケットボール部	全関西バスケットボール選手権大会	2回戦敗退
サッカー部	関西学生サッカーリーグ戦	3部Aブロック10位(8敗1分)
バドミントン部	大阪学生バドミントン選手権大会(団体)	3回戦敗退
ソフトボール部	関西学生ソフトボールリーグ戦	3部Cブロック4位(1勝3敗)
テコンドー部	全日本学生テコンドー選手権大会	優勝1名、準優勝1名
空手道部	全日本学生空手道選手権大会	ベスト16
柔道部	関西学生柔道優勝大会(団体)	2回戦敗退
剣道部	全日本学生剣道選手権大会	1回戦敗退
囲碁部	関西学生囲碁リーグ戦	1部4位(4勝3敗)
将棋部	関西学生将棋リーグ戦	一軍戦B級3位(3勝2敗)

# 支部活動報告(支部長メッセージ)

**広島支部(会員数999人)**  
 枡田 博昭 支部長(3期生)



広島支部は、1999年10月に設立後、今年で節目となる15年を迎えることができました。

支部活動としては、これまで年1回の支部総会によって、大学の変遷や各自の近況報告等を起点として和気藹々とやってまいりました。

最近、県東部や北部等遠方からも参加いただき、年齢層も20代から50代まで幅広くっており、次代へのつながりや今後の支部活動に大いに期待しております。広島県に在住されている方や広島県出身の校友の皆様におかれましては、支部総会をはじめとする各種行事に是非足をお運びください。

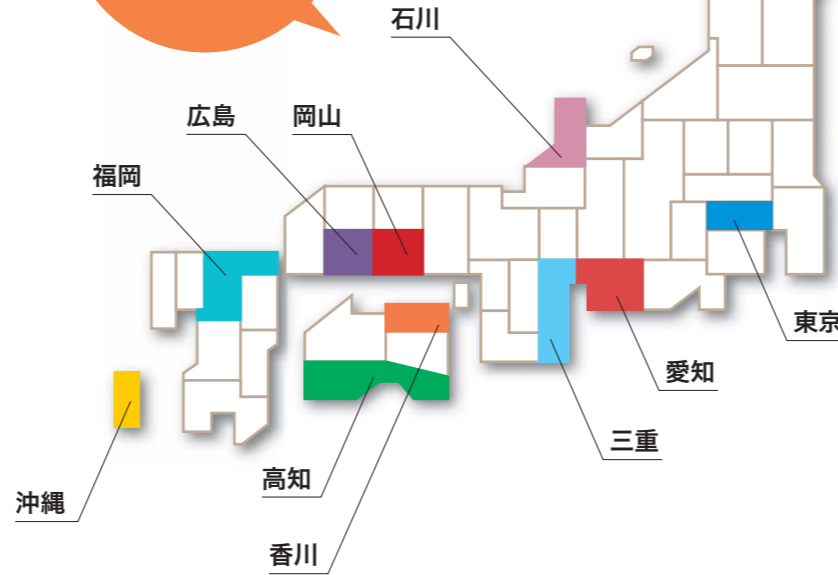
**岡山支部(会員数728人)**  
 樋上 有司 支部長(4期生)



岡山支部は、在学生の就職支援について直接的又は間接的な働きかけで、より多くの在学生が将来、希望をもって社会の一員となり、社会に貢献できるよう、卒業生間での異業種交流等を活発に展開し、在学生の就職先のすそ野を広げていきたいと思っています。

また、各業界で活躍する既卒者や在学生の止まり木的な休息の存在として、より校友間の交流を深めていきたいと考えております。岡山支部では、さらなる交流を深めるため、一昨年より校友会岡山支部でfacebookを運用しています。興味がある方は、是非アクセスをお願いします。

全国に10支部  
 活動を広げ、  
 母校の発展に  
 貢献します!



**石川支部(会員数934人)**  
 山下 浩希 支部長(10期生)



石川支部は、校友相互の親睦を深めることを第一の目的に支部総会、校友会総会、経法祭にも積極的に参加しています。

近年は交流親睦行事だけでなく「母校に何か出来ないか」と考え、経済学部高砂准教授のBLP(ビジネスリーダープログラム)特別演習受講生のインターンシップを校友が経営する企業で受け入れ、夜には『OB講話』と称して校友が日替わりで「シゴト」をテーマに話し、大変好評を得ました。

今年、9月20日(土)に金沢で支部総会の開催を予定しており、今後も支部活動を通して会員相互の親睦を深め、母校の発展に少しでも役立つと願っております。

**東京支部(会員数439人)**  
 宮松 久浩 支部長(9期生)



東京支部は、南関東(東京、神奈川、埼玉、千葉)地区の広域に在住されている方々から構成されており、東京都内に在住又は勤務されている方だけではなく、近郊に在住、勤務されている方も会員となります。

毎年4月の第3金曜日、午後7時から東京麻布台セミナーハウスにて、一期生の先輩から卒業生間もない会員が多数集結し、東京支部総会を開催しています。開催日時は、毎年固定されていますので、是非年間のスケジュールに入れておいてください。懐かしい大学時代の思い出話や異業種間での情報交換など、有意義な時間を過ごすことができると思います。

**沖縄支部(会員数157名)**  
 新里 靖 支部長(14期生)



沖縄支部は、1999年設立以降、沖縄県出身の卒業生を中心に、ボランティア活動や校友、在校生との交流などを目的に支部活動を積極的に展開しています。

今年、5月に県出身の新卒者の歓迎会を兼ねて卓球大会を開催し、会員間の親睦を深めることができました。また、8月には会員相互の交流を目的に、ビーチパーティーの開催を予定しており、会員同士や会員の家族や友人たちとの交流も深める機会にしたいと考えておりますので、お時間のある方は是非ご参加ください。

今後は、9月に父母懇談会(那覇市)への参加・協力、10月に第14回沖縄支部総会を予定しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**福岡支部(会員数502人)**  
 澁田 博之 支部担当(20期生)



福岡支部は、一昨年(2012年)に11年ぶりに支部総会を開催し、一人でも多くの校友との交流・親睦を深めることを目的に、対象地域を北部九州(福岡・大分・佐賀・長崎・熊本県)に拡大しました。

今年、去る7月26日(土)に、福岡市内で第4回支部総会を開催したところ、世代を越えた校友が多数集まり、大学時代の思い出話や会員相互の近況報告など、楽しい時間を過ごすことができました。また、SNSなどを活用し、会員の拡大にも努めており、今後はYou Tubeやfacebookなどに懇親会の動画を掲載し、支部総会をはじめとする支部活動への参加を促していきたいと思っています。

**高知支部(会員数500人)**  
 小橋 光生 支部長(1期生)



高知支部は毎年、6月の第4土曜日に支部総会を開催しています。今年、6月28日(土)に第11回高知支部総会を開催し、本年度の活動方針等について確認するとともに、多くの会員に参加いただき、成功裡に終えることができました。

また今年、例年9月に開催されている父母懇談会への協力や情報交換の場として、忘年会又は新年会の開催、校友会総会及び経法祭への参加を予定しています。今後も多くの会員に各種行事に参加していただき、校友間での情報・認識共有を図り、よりよい支部運営に努めていきたいと思っています。

**香川支部(会員数504人)**  
 石塚 央 支部長(6期生)



香川支部の活動としては、校友会総会や経法祭への参加、香川県内で行われる学生の合宿やクラブ活動に対する支援等を行っています。

支部総会は、毎年2月から3月にかけて開催しており、この間の総会においては、高知支部・愛知支部の方々や在学生の皆さんも参加し、支部会員の協力等により盛大に開催することができています。

香川支部は、まだまだ活発に活動しているとは言えませんが、これからも、より多くの卒業生に参加していただけるよう、香川支部を発展・成長させていきたいと思っております。

**三重支部(会員数699人)**  
 中須 秀治 支部長(1期生)



三重支部は、今年設立7年目を迎え、6月7日(土)に第7回三重支部総会を開催しました。現在、三重支部の役員は支部長を含め9名ですが、各役員が役割を分担し校友会活動に取り組んでいます。

今年度の支部活動計画は、①支部活動の積極的な展開、②校友会行事への積極的な参加、③愛知支部との連携体制の構築の3つを掲げ、特に今年は愛知支部との連携体制を強化し、支部活動や校友会行事への共同参加など、活動の場を広げて取り組んでいきます。

今後も三重支部へのご支援ご協力の程よろしくお願いたします。

**愛知支部(会員数814人)**  
 岸 泰至 支部長(12期生)



愛知支部は毎年、支部総会・懇親会、忘年会又は新年会を開催しています。今年、7月26日(土)に支部総会・懇親会を開催しました。支部総会では、母校の近況報告や来年の第10回支部総会を記念事業として何か行いたいなど、活発な意見交換が行われました。

今年度の活動としては、校友会総会・懇親会、経法祭への参加、忘年会等の開催を予定しています。支部役員はじめ、一人でも多くの校友と集うために愛知県在住・出身の方々からの忌憚のない意見と在校生から卒業生まで参加者全員が楽しめる魅力ある愛知支部をめざしております。

2014年度校友会事業計画

1 第16回校友会総会・懇親会



開催日 2014年10月18日(土)
総会 16時～
懇親会 17時30分～

会場 シェラトン都ホテル大阪「浪速の間」

2 幹事会の開催

1 幹事会の定例開催

第1回 決算審議、校友会総会・懇親会進捗状況の確認、経法祭企画審議、校友会報編集体制・方針等の確認、全国支部長会議実施計画審議
第2回 経法祭企画進捗状況の確認、全国支部長会議実施概要の確認
第3回 次年度事業計画(案)・予算(案)審議・決定

2 常任幹事会の開催

校友会事業の円滑な運営のため常任幹事会を適宜開催

3 支部活動支援

1 各支部による事業計画・予算(案)の策定

支部活動の活性化を一層推進するため、各支部の活動状況等に応じた事業計画・予算(案)を策定する。

2 支部総会の開催

各支部の状況に合わせて、適宜支部総会を開催。支部総会開催時に次年度の事業計画・予算(案)について審議し、支部活動の活性化及び支部活動に参加する会員の増加を図る。

3 全国支部長会議の開催

4 会報・広報の充実

1 校友会報第19号の発行

卒業生・在学生の活躍や大学の

持つ教育研究等における多様な情報を効果的に発信できる広報物とする。第16回校友会総会・懇親会の実施概要についても掲載し、参加者の拡大を図る。

2 ホームページ、学内における各種媒体の有効活用

校友会全体の活動状況、校友会会員の活躍等を各種媒体を通じて、積極的に情報発信し、在学生の校友会に対する理解認識を深める。

5 学生活動支援

1 学生活動援助費の有効活用

多くの学生(準会員)に有効活用していただける援助費となるよう、周知方法及び申請に係る手続き方法等について確認し、在学生への周知を図る。

2 経法祭参加企画の再検討

第7回全国支部長会議を経法祭開催日と併せて開催することから、企画内容を再検討し、より充実した参加企画となるよう、実行委員会を中心に準備を進める。



3 卒業祝賀企画への支援内容を再検討

校友会に一人でも多くの卒業生を誘引できるよう、学生団体(卒業生祝賀実行委員会)と連携し、卒業祝賀企画の支援内容を再検討する。

6 その他

1 校友会における日常業務の円滑な遂行

2 東日本大震災被災校友復興支援について

復興支援活動については、義援金の活用方法について検討の上、日本赤十字社への寄付等を決定する。

2014年度校友会収支予算書

(2014年4月1日から2015年3月31日まで) (単位:円)

Table showing the 2014 budget for income (収入の部). It lists items like membership fees, event participation fees, and other income, with columns for 2013 budget, 2014 budget, and differences.

Table showing the 2014 budget for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for 2013 budget, 2014 budget, and differences.

Table showing the 2014 budget for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for 2013 budget, 2014 budget, and differences.

Table showing the 2014 budget for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for 2013 budget, 2014 budget, and differences.

Table showing the 2014 budget for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for 2013 budget, 2014 budget, and differences.

Table showing the 2014 budget for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for 2013 budget, 2014 budget, and differences.

2013年度校友会収支決算書

(2013年4月1日から2014年3月31日まで) (単位:円)

Table showing the 2013 actual results for income (収入の部). It lists items like membership fees, event participation fees, and other income, with columns for budget, actual amount, difference, and remarks.

Table showing the 2013 actual results for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for budget, actual amount, difference, and remarks.

Table showing the 2013 actual results for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for budget, actual amount, difference, and remarks.

Table showing the 2013 actual results for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for budget, actual amount, difference, and remarks.

Table showing the 2013 actual results for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for budget, actual amount, difference, and remarks.

Table showing the 2013 actual results for expenses (支出の部). It lists items like general management fees, office expenses, and student support, with columns for budget, actual amount, difference, and remarks.

2013年度校友会事業実施結果

Table showing the implementation results of the 2013 alumni activities, listing dates, events, and remarks for various occasions throughout the year.